

「東北のみちのあり方を考える懇談会」設立について

1. 趣 旨

現在、我が国では、国・地方に関わらず、深刻な財政難に直面しており、財政再建は喫緊の課題に位置付けられている。更に、少子化・高齢化の急速な進展、国際競争の激化、安全・安心へのニーズの高まり、地球環境問題への対応や情報技術の更なる進展等、財政再建と併せて、様々な分野で構造改革が求められている。

一方、私たちの暮らす東北は、豊かな自然と歴史が調和した、魅力溢れる地域であるが、広大なエリアに散在する市町村、東西交流を阻む、奥羽山脈に代表される厳しい脊梁地形、エリアの8割にも及ぶ豪雪地帯など、地域特有の様々な課題も併せ持っている。これらの課題解決のためには、ブロック内の各地域が、地域固有の文化・伝統・自然条件等に根ざした特性を發揮し、相互に機能補完・連携することによって、ブロック全体として魅力を向上させ、安定的な自立を実現することが必要である。

このような状況のなか、我が国の道路整備は、戦後復興から高度経済成長期にかけて急速に進められ、50年余りを経過したところであるが、必要な道路の整備を更に促進するとともに、道路ストックを良好に維持しつつ、良質な道路サービスを提供することが、国・地方の抱える諸課題を解決するための一助と考えている。

しかしながら、道路特定財源の一般財源化の議論、道路サービスに対する利用者ニーズの変化等、道路を取り巻く情勢は大きく変わりつつあり、道路利用者の声を十分に反映させながら、「道路に求められているサービス、その進め方等」について、原点に立ち返った検討が必要と認識している。

「東北のみちのあり方を考える懇談会」は、学識経験者や各界の有識者により、東北の地域特性、地域ニーズを踏まえた幅広い意見や助言を頂きながら、東北の目指すべき道路政策のあり方についての検討、提言等をいただくことを目的に設立するものである。

2. 本懇談会の位置付け

- ・「東北の今後の道路政策のあり方」についての提言とりまとめ
- ・「今後の道路政策に基本的方向について（論点整理）」に対する意見とりまとめ

3. 今後の進め方（予定）

別紙「東北のみちのあり方を考える懇談会」の今後の進め方について（案）